

進化と継承

福井県議会議員

ささ はら のぶ ゆき

笹原修之 NEWS

県政に届けます

みなさまの声を

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より県政の発展に向けた県議会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

福井県政は、知事の突然の辞職という極めて重大かつ前例のない局面を迎えております。県議会としましては、尊厳を踏みにじるハラスメント行為に対し、厳正に対処する姿勢を明確にし、再発防止策を早急に構築し、県職員が安心して職務に従事できる環境を整備するよう求めました。

一方、国政では我が国初の女性総理となる高市早苗総理が誕生し、積極的な財政出動と安全保障強化を鮮明に打ち出すなど大きな変化の渦中にあり、私たちの生活に直結する施策の推進も急務であります。

また、県政におきましても北陸新幹線の大阪延伸や、使用済み燃料の乾式貯蔵をはじめとする原子力政策など、重要課題は山積しております。これらの課題解決に向けて、本年も全力を尽くしてまいりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

予算決算特別委員会審査報告

県庁におけるハラスメントの根絶について

Q ハラスメント防止条例の検討や、被害者が声を上げやすい職場環境づくりなど、ハラスメントの根絶に向けて、外部専門機関による全職員へのハラスメント実態調査を行うべきではないか。

A ハラスメントの相談は被害者にとっても心理的負担が大きい。被害者が安心して相談でき、組織に守られていると実感できる環境を整え、実効性ある取組を丁寧に進めていく。

福井アリーナについて

Q アリーナは基本的に民設民営で、県・市・経済界が連携しながら整備しているが、知事が不在でも計画は進んでいるのか。また、2月上旬に申請する予定の国の交付金申請に向けて準備は進んでいるのか。

A 新体制になってもスピードを緩めることなく進めていく。国の交付金については来年3月の事業採択、4月の交付決定を予定しており、経済界と一丸となって、満額交付されるよう引き続き働きかけを強めていく。

北陸新幹線敦賀以西について

Q 与党PTが8ルートを検証することに合意したことは、今までの議論が後戻りしたと感じている。今後は休む間もなく行動に移さなければならないと思うが、そうした体制はできているのか。

A ゼロベースからの議論は全線開業の遅れにつながるため、「小浜・京都ルート」が全線開業の一番の近道であり、それ以外には同意しないということを、新体制になっても迅速に政府・与党に働きかけていきたい。

人手不足対策におけるシニア人材活用について

Q 今後、生産年齢人口が減少する中で、シニア世代の活用がさらに重要になってくる。県内企業の雇用におけるシニア活用の戦略を作り、今まで以上に取組むべきではないか。

A シニアのライフスタイルも多様化しており、短時間勤務など柔軟な働き方を作っていきたいと考えている。引き続き、高齢者も企業や地域で生き生きと働き続けることができる社会の実現に努めたい。

1 観光地の災害対応と安心で利便な観光政策について

Q1

全国で火災が相次ぐ中、あわら温泉では2017年に「あわら市観光事業者災害対応マニュアル」を策定しております。災害発生時には地域全体で観光客の安全を守るため、平時から観光事業者と地域・行政が連携し、観光危機管理について具体的にシミュレーションしておくことが、災害を最小限に留めることに繋がると考えますが、中村職務代理者の所見を伺います。

A

中村職務代理者

県では、市町・観光事業者・観光協会など、災害時に対応の当事者となるような方々に対しまして、観光危機管理に対する意識を高めるセミナーを開催しました。

今後は、市町と事業者の役割分担に関する実効性の高い観光危機管理の指針を、今年度中に策定する予定でございます。これを基に、市町や事業所ごとに独自マニュアルの作成を促し、円滑で効率的に実施できる危機管理体制を構築してまいります。

Q2

火災予防には様々な訓練を通じて地域の防災力を高め、常に備えておくことが重要ですが、不特定多数の人が出入りする観光地における消防訓練の実施状況はどのようなものか、また、宿泊施設が観光客に安全・安心をアピールできるような消防設備の更新に対して、新たな支援策を講じるべきと考えますが、県の所見を伺います。

A

交流文化部長

不特定多数が使用する施設につきましては、消防法令において消火設備・警報設備等の設置、避難誘導のための訓練実施など、防火安全対策を講じることとされております。

消防設備の更新等につきましては、法令に基づき事業者が計画的に進めるものであり、観光事業者など特定の事業者のみに補助制度を設けることは困難と考えます。今後は関係部局とも連携し、消防適マーク制度の取得呼びかけを実施してまいります。

Q3

本県の防災情報「福井県防災ネット」は、ホームページに情報を取りに行かなければならず、観光客や県民の手になかなか届かない。観光・イベント・移動・医療福祉などの情報に加え、福井県防災ネットとも連携している、速報性と利便性が高い「ふくいコンシェルジュ」アプリの周知をもっともっと進めるべきと考えますが、県の所見を伺います。

A

未来創造部長

「ふくいコンシェルジュ」は、県や市町が発信するイベント情報や施設予約等の行政サービスを集約するポータルアプリで、9月に震度速報や気象警報等の災害関連情報が取得できる機能を追加したところです。令和4年のリリース以降、5万ダウンロードにとどまっており、福井県防災ネットをはじめ様々な情報と連携し、利便性が高いということもございまして、庁内の各部局、市町に対しまして、広く周知していきたいと考えています。

Q4

全国に秀でる観光地が点在する福井県が、京都や金沢に誘客負けする理由の一つに、2次交通チケットの利便性の弱さがある。公共交通機関の利用促進という観点から、オールふくい型の「鉄道・バス共通乗り放題チケット」の発行を交通事業者に促し、県も支援していくべきと考えますが、県の所見を伺います。

A

未来創造部長

県内全ての公共交通機関が乗り放題となるチケットは、エリアや路線をある程度絞ったものとなっているのが実態です。交通事業者の価格設定と利用者の割安感との間に少し開きがあり、バランスをとることが難しいということです。新たな乗り放題チケットにつきましては、利用者の動態やニーズ、現在の利用状況などを十分考慮しながら、交通事業者と共に検討していきたいと考えています。



△まとめ

事業者と行政が一体となり、防災面に配慮した安心・安全な観光政策と、利便性の高い公共交通政策を期待しております。



2 水道用水/供給事業の現状と見直しについて

Q1

あわら市は福井県水道用水供給事業により水道用水を受給していますが、人口減少や節水型給水器具の普及により、給水量は責任水量の3分の2程度にまで減少しています。責任水量の見直しや、使用した分だけ支払う二部料金制の導入など、給水量の需給バランスを見ながら、長期運営できるような事業体制づくりが必要であると考えますが、県の所見を伺います。

A

産業労働部長

県では、責任水量制のもとで市町に必要な負担を求め、安定した水道用水の供給を行っており、これまで複数回にわたって供給単価を引き下げてきました。あわら市では、使用水量が当初計画を下回っていることから料金負担軽減の要望があり、県では今年度末に向けて老朽化対策や耐震化などの経営戦略の見直しを行い、料金等についても検討を行い、受水者の理解を得ながら、長期運営できる事業体制づくりに努めてまいります。



△まとめ

水道事業は県民の重要なライフラインですが、今後はあらゆる場面で改修や更新、ダウンサイジング等が求められてきます。県も市も安定して長期運営できる事業体制づくりを、心より期待しております。

3 県立学校の環境整備について

Q1

県立学校に設置されている太陽光発電設備は老朽化が進み、実際に発電しているのは12校中9校、発電状況が正常に確認できるのは、12校中4校のみであり、とても正常な稼働状況にあるとは言えません。防災拠点や避難所という観点では、発電機のみならず蓄電池の確認も必要となってくると思いますが、更新や修繕の計画はあるのか伺います。

A 教育長

県立学校の太陽光発電設備は、新エネルギーの普及・啓発の観点から、現在12校に設置されていますが、設置から20年以上が経過し、3校で故障停止しているため、学校と協議しながら早急に修繕を検討いたします。設置可能な残り4校についても、令和8年度から計画的に整備を進めたいと考えております。今後も脱炭素社会に向けた環境教育につきましては、生徒が身近に感じられる工夫をしながら積極的に取り組んでまいります。

Q2

坂井高校「山室農場」のトイレや実習室、農機具小屋は激しく老朽化しており、すぐにでも修繕が必要です。また三国高校では、トイレの匂いが廊下まで漂う状況です。このような学校の衛生環境について、教育長はどの程度把握しているのか、また、これらの環境整備について、県はどのような計画を設けていくのか、所見を伺います。

A 教育長

県立学校のトイレ改修につきましては、普通教室のトイレ483器を洋式化し、さらに720器を温水洗浄機能付き便座に交換を進めています。特別教室等のトイレ498器は今年度から9年度にかけて洋式化いたします。旧式のタイル張り湿式トイレは、校舎の大規模リノベーション工事に併せて乾式化を実施しております。坂井高校の山室農場につきましては、教育活動に支障が出ないように、学校と協議しながら改修を進めていきたいと考えております。

まとめ



教育環境の整備は、将来の福井に対する投資です。
教育長にはぜひ現場を見ていただき、子ども達が快適な学校生活を送れるような環境整備をお願いします。



4 あわら市沖/洋上風力発電の課題と展望について

Q1

あわら市沖洋上風力発電は、漁業者や観光・商工業者の間では期待する声が上がるとともに、ここ数年の物価上昇の中、事業継続に対する懸念が生じています。事業者が従来の海域のままでは採算が見込めないと判断し、その海域の拡大を求めた場合、県として認めることができるのか、中村職務代理者の所見を伺います。

A 中村職務代理者

あわら市沖で事業を検討している事業者からは撤退の意向は聞いておりませんが、今後洋上風力を進めていく上では、採算性の確保は大きな課題になると考えています。事業採算性の確保に向けては、国が物価変動を反映するスキームや、計画の実現性を重視した公募ルールの見直し等を進めております。海域の取扱いについては、国における制度の見直しや事業者の考え方、さらには地域の関係者の意見を十分確認して、必要な対応を検討してまいります。

Q2

現在のステージは「一定の準備区域」であり、「有望区域」にステージを進めるためには、隣市の理解が必要となりますが、市長が新しく変わられた加賀市との関わりに対して、福井県として今後どのように話を進めていくのか、県の所見を伺います。

A エネルギー環境部長

あわら市沖洋上風力発電は、自然環境等への影響が県を跨ぐ可能性もあり、隣接する加賀市や石川県側の関係者の理解を得ながら進めていくことが重要です。県としては、これまでも加賀市や石川県の担当者を訪問し、事業計画の概要や経済波及効果等について説明を行うなど、適宜適切に情報共有に努めております。引き続き、漁業や景観への影響、観光、経済面での地域へのメリットなど、石川県側と丁寧にコミュニケーションを図ってまいります。

Q3

三菱商事は秋田県・千葉県沖の3海域を格安の売電価格で落札しましたが、建設費用が当初見込みの2倍以上に膨れ、522億円の損失計上を理由に、2025年2月に撤退を発表しました。この三菱商事の事業撤退に起因する洋上風力発電事業への懸念に対し、県は今後どのように対応していくつもりか、県の所見を伺います。

A エネルギー環境部長

三菱商事の撤退について懸念が生じたものの、国は洋上風力の重要性に変わりはなく、撤退に至った要因を分析し、制度の見直しを進めています。また、県ではあわら市沖で事業を検討している3事業者について、いずれも撤退の意志がないことを確認しています。こうした国の揺るがぬ姿勢や事業者の意向は、地元関係者への個別訪問や、漁業・経済・観光関係者との意見交換会においてしっかりと説明し、懸念の払拭に努めてまいります。

まとめ



洋上風力発電は、非常に大きな経済効果と雇用創出が期待されております。
あわら市・坂井市・加賀市、そして利害関係者を含めた法定協議会が早急に立ち上がることを期待しております。

普段どうい活動をしているの？

ささはらのぶゆき

活動報告

【2025.10▶12】抜粋

詳細は  Facebook
又は、ホームページを
ご覧ください！！



10月 坪江ふるさと祭・健康長寿のつどい



10月 浜坂吉崎健康長寿のつどい



10月 県議会常任委員会県内視察
(ふくい園芸カレッジ)



10月 国道8号要望活動
(福井河川国道事務所)



10月 北潟地区健康長寿のつどい



10月 細呂木ふれあい祭り



10月 本荘ふるさとまつり



10月 森林・林業・木材産業活性化大会



11月 あわら市商工フェスタ



11月 第67回 近畿・東海・北陸ブロック
民俗芸能大会



11月 北潟湖フナ放流事業



11月 不法投棄タイヤ処分を視察



11月 ふくい自転車を活用した
まちづくりサミット



11月 中部縦貫自動車道視察
(新子馬巣谷橋)



11月 福井県生活衛生同業組合
連合会との意見交換会



11月 第44回 剣岳かりんて祭



12月 坂井地区子どもまつり
(ディスクドッジ大会)



12月 ワールドマスタースゲームズ2027関西
決起大会&記念シンポジウム



12月 北陸新幹線フォーラム2025 in 福井



12月 三国土木事務所へ要望書提出

県政についてのご意見・ご要望をお聞かせください!!

明るい未来を目指して。福井 **新・時代**

ささはらのぶゆき

福井県議会議員 笹原修之

【事務所】〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)

TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail: sasahara@helloprint.co.jp

ホームページは
コチラから!

日々の活動を随時更新中!

笹原のぶゆき 検索

